



## IDF PRESS RELEASE

Brussels, 31<sup>st</sup> January 2017

# IDF プレスリリース

2017年1月31日

## 酪農乳業のための IDF ウォーターフットプリント 手法ガイドの発刊

水は一般人の生活と酪農に不可欠な要素です。淡水の汲み上げ量は人口増に比例して増大することが予想され、多くの地域で水事情を悪化させる可能性がある。したがって、酪農乳業には水を持続可能的に管理するための先進的な道具が求められている。

フードチェーンに沿って水の使用を測定する手法や道具は種々あるので、結果の解釈に明確なガイダンスが必要である。酪農乳業のための IDF ウォーターフットプリント手法ガイドの新しいブリテンは、ライフサイクルアセスメント（LCA）算定に必要な手順、データおよびモデルに言及して [ウォーターフットプリント](#) を評価する原理と要件を解説している。この IDF ガイドでは、種々の水関連ライフサイクル影響アセスメント手法を描き、水の消費と廃棄に関する事例と勧告を提供している。

「この実用書では自然資源を安全で有効に責任をもって利用することについて、酪農乳業の実施規範を継続的に改善、計測する活動にガイダンスを与えるものです。畜産業界は極度に多様化が進み、持続可能性に連なる道程には、生産システム、気候や育種の差異を横断する異なる解決手法が求められます。」と、IDF 環境常設委員会の現職委員長イング・ワング博士は述べた。

「酪農乳業界の環境影響を改善すれば、温室効果ガス排出を削減する以上の効果があります。IDF が開発した共通カーボンフットプリント手法<sup>1</sup>は、最新のライフ

---

<sup>1</sup> IDF ブリテン N479/2015 : 酪農乳業の共通カーボンフットプリント手法 – 標準ライフサイクルアセスメント手法の IDF ガイド

フサイクルアセスメント（LCA）の研究成果とユーザーからの意見を取り入れて改訂しました。ウォーターフットプリントガイドと同じ手法を用いて開発しました。ハーモニゼーションされたメーター法と同手法を提供することによって、得られた結果を地球規模で比較可能となり、緩和（削減）手段の選択が便利で、進捗状況が容易に計測できるようになりました。」とワング博士は続けた。

この新しい道具によって、食糧保障、酪農乳業および畜産業の持続可能性を確保するために水資源の効率的な管理の重要性をIDFは繰り返し述べている。

IDFブリテン 486/2017「酪農乳業のためのIDFウォーターフットプリント手法ガイド」は無料で[IDFホームページ](#)からダウンロードできる。

翻訳：JIDF事務局

翻訳者注：仮訳の正確性、完全性、有用性等についてはいかなる保証をするものではありません。参考資料として扱い、内容に疑義が生じた場合は英文の原文をご確認ください。